

令和6年4月4日
国土交通省関東地方整備局
川崎国道事務所

工事発注手続きについて

～「R6国道357号辰巳橋海側下部補強工事」の発注手続きを行います～

川崎国道事務所が発注する「R6国道357号辰巳橋海側下部補強工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R6国道357号辰巳橋海側下部補強工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 見積活用方式
4. 難工事指定
5. 余裕期間制度（フレックス方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 川崎記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 川崎国道事務所

電話：044-888-6411（代表） FAX：044-888-6702

副所長 小島 喜一（おじま きいち） （内線：205）

工務課長 傳田 修司（でんだ しゅうじ） （内線：411）

《工事概要》

(1) 工 事 名：R6 国道 3 5 7 号辰巳橋海側下部補強工事

(2) 工事場所：

東京都江東区辰巳3丁目地先（とうきょうと こうとうく たつみさんちょうめ ちさき）

(3) 工 期：全体工期 契約締結の翌日から令和7年7月28日まで

(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

(5) 工事種別：橋梁補修工事

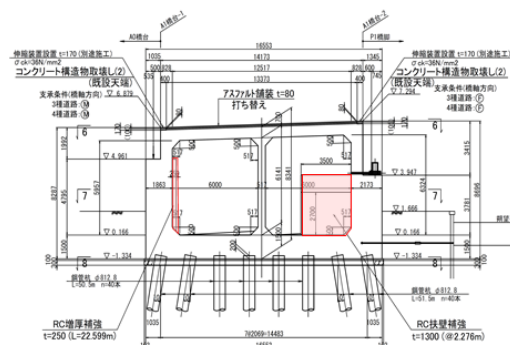
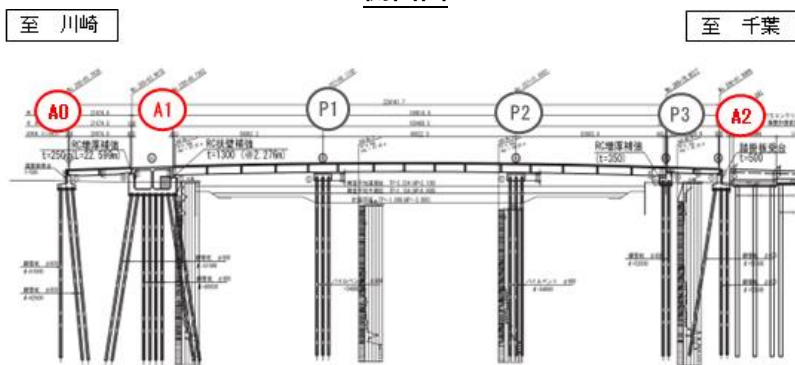
(6) 工事内容（概要）：

コンクリート	241m ³	
鉄筋	31.02t	
コンクリート削孔	1,111 箇所	
足場	450 掛 m ²	
仮設工	1 式	他



側面図

横断面図



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の資格要件を「東京都・神奈川県」に建設業法に基づく「本店、支店または営業所」有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく「本店、支店または営業所」有する企業に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「構造形式が鉄筋コンクリート構造形式の橋台又は橋脚補強工事であること」に限定せず、「橋梁補修、橋梁補強、橋台または橋脚の新設のいずれかの施工実績があること」として緩和をします。

3. 見積活用方式

1) 見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、「コンクリート」「鉄筋」「足場」

2) 見積の提出を求める理由

本工事は、供用中の首都高速道路と国道357号に挟まれた狭隘な作業ヤードとなっており、また搬出入等の出入が一方向であるため、作業効率が低下し、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると想定されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

4. 難工事指定

本工事は、供用中の首都高速道路と国道357号に挟まれた狭隘な作業ヤードとなっており、また交通量の多い現道を介して資機材の搬出入等を行うことから、厳しい安全管理と施工管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

5. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和7年7月28日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	: 令和6年 4月 4日 (木)
○技術資料等、見積書の提出期限	: 令和6年 4月18日 (木)
○入札書及び工事費内訳書の提出期限	: 令和6年 5月23日 (木)
○開 札 日	: 令和6年 5月28日 (火)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

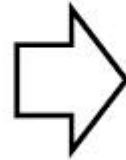
公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出

(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は企業における防災に係る取組
姿勢と施工実績等+買上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

防災に係る取組姿勢と
施工実績等を評価